

# 介護事業所における業務改善の 推進に係る取組方針（案）

千葉県介護現場革新会議

## 業務改善が求められる背景と取り組む目的等

- 介護サービスの需要は今後、更に高まることが見込まれている。一方で、我が国の生産年齢人口は急速に減少することが見込まれている。
- 人手不足の中でも介護サービスの質の維持・向上を実現するためには、介護サービス事業所の課題を明確にし、業務改善活動等に継続的に取り組む必要がある。そして、これらを通じて職員の働きがいや仕事に対する満足度を高め、その結果として更なるサービスの質の向上につなげていく。

### 【参考】千葉県高齢者保健福祉計画における基本目標

I 個性豊かに、健康で生き生きとした暮らしの実現

II 介護が必要になっても、安心して自分らしく暮らせる地域社会の構築

～地域共生社会実現のための地域包括ケアの深化・推進～

※本方針の具体的内容については、今後、介護現場革新会議の中で議論していくこととする。

# 取組方針 - 概要 -

- 各介護サービス事業所は持続可能かつ充実したサービスを提供するために、厚生労働省が策定したガイドライン等を参考に現場の課題に即した生産性向上の取組を推進する。
- 行政機関や関係機関はその取組が円滑に推進されるよう支援する。



# 取組方針

## － 具体例①－

- 具体的には、例えば以下の取組が挙げられる。

### (1) 人材不足の時代に対応したマネジメントモデルの構築

介護に関する業務を「直接的なケア」と「間接的業務」に分け、施設・事業所内の課題を抽出した上でPDCAサイクルを回し、改善活動を継続する。

### (2) ロボット・センサー・ICT等、介護テクノロジーの活用

利用者の安全性向上や、職員の身体的負担や精神的負担の軽減などのために、介護ロボットなどのテクノロジーを用いる。その結果として、介護現場にゆとりの時間を生み、利用者と介護者の触れ合う時間や利用者の安心感を増やす効果が期待される。

# 取組方針

## － 具体例②－

### (3) 介護業界のイメージ向上・人材確保・定着促進

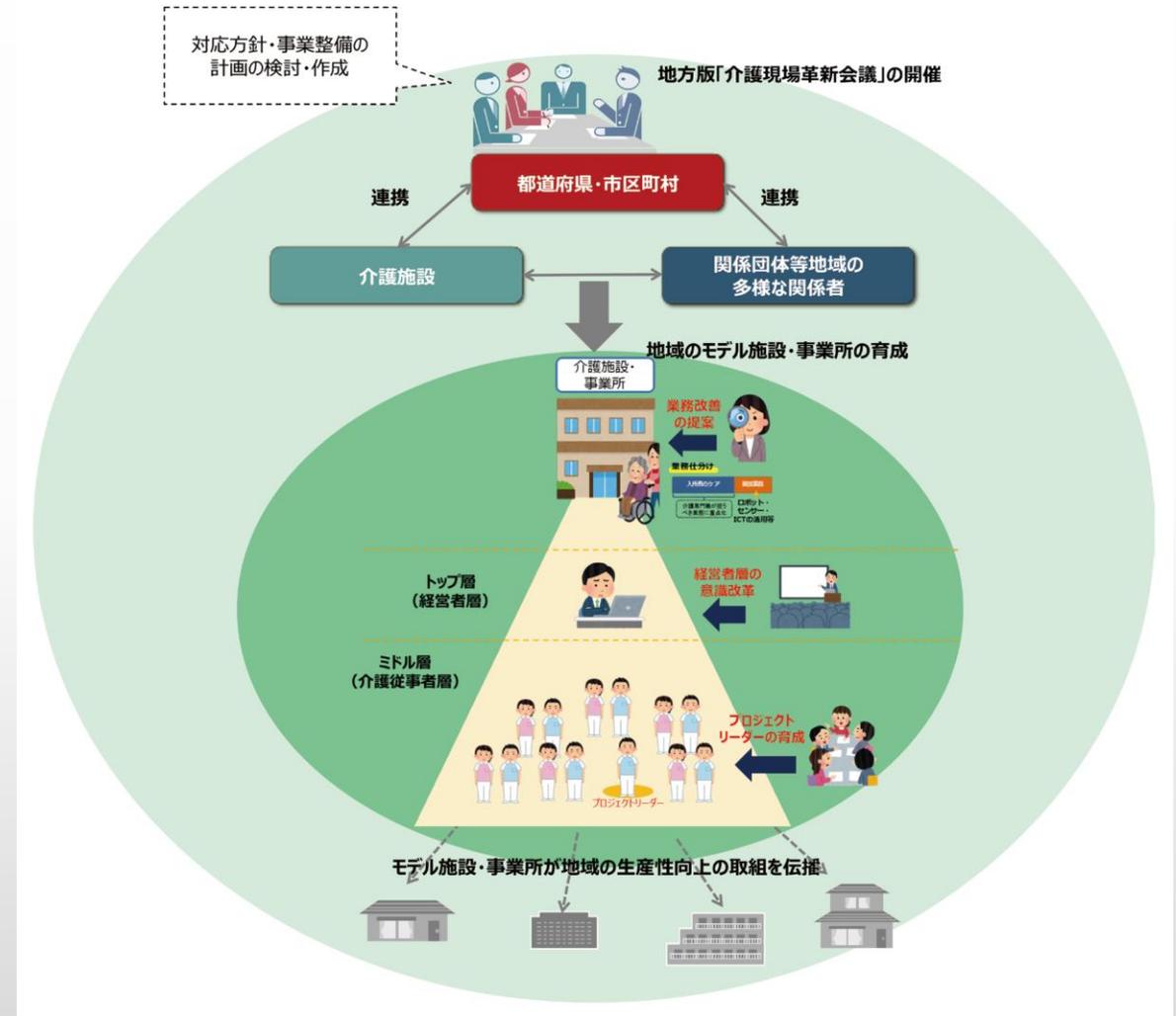
介護テクノロジーを活用することにより、介護業界のイメージを刷新しつつ、働きやすい職場環境・人事制度・キャリアラダー等を整備し、人材確保・定着促進につなげる。

また、活躍の場を創出してアクティブシニアや外国人など多様な人材の参入を促進する。



# 取組方針 – 好事例の横展開 –

- 介護業界においては課題が深刻化している中で、早い段階でできる限り多くの事業者が業務改善の必要性を理解し、取組を推進していく。
- 厚生労働省が策定した手引き等も参考に、業務改善の好事例となる事業所を育成し、横展開を図る方策について検討する。
- 行政機関や関係機関、介護サービス事業所同士が連携しながら好事例の普及等を図る。



(出典) 介護サービス等における生産性向上に資するパイロット事業 (自治体向け手引き)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei-information.html>